

もうすぐ夏休み

夏休みが近づいてきました。長い休みは楽しみですが、「あー、また宿題がー。」って思っている人もいないでしょうか。

学校から出されている宿題は、一学期の復習です。せっかくの長い休みです。時間もたくさんあります。ふだん出来ないことに目を向けてみると、驚きや発見、不思議に出会え、ワクワクするかも知れません。夏休みがスタートしたら、まずは学習の計画を立てて、宿題や課題を進めていきましょう。

2～6年生の皆さんは一人一台のipadを持って帰ることになります。タブレットを使うときのルールをしっかりと守ながら活用し、学習の幅を広げてほしいと思います。



「ノートの達人」の取り組み

今年度も、ていねいなノート作りができている人を紹介する「ノートの達人」の取り組みを行っています。毎回、職員室前に掲示し、全校児童の見本となっています。どのノートも工夫されたものばかりです。文字をていねいに書くことはもちろんですが、自分の考えを工夫しながらノートに書くことができています。

☆プログラミング学習について

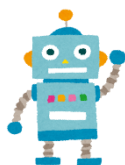
2020年から小学校でプログラミング学習が導入されています。プログラミングといっても、PCなど機器を動かしている言語を学ぶことではありません。学生時代、「BASIC」とか「C言語」とかを学ばれた方もおられると思いますが、プログラミング言語（コーディング）そのものではないということです。

プログラミング教育とは、子供たちに、コンピュータに意図した処理を行うよう指示することができるということを体験させながら、将来どのような職業に就くとしても、時代を超えて普遍的に求められる力としての「プログラミング的思考」などを育むことであり、コーディングを覚えることが目的ではない。

出典：文部科学省（文科省）「小学校段階におけるプログラミング教育の在り方について（議論の取りまとめ）」

プログラミングを例としてあげてはいるものの、本質的な部分において『プログラミング的思考』が「論理的に考える力」を指し示しているようです。「『プログラミング的思考』とは「論理的に考える力」を意味し、プログラミングは「論理的に考える力」を学ぶ方法の一つ」ということになります。

★先週、4年生の子ども達に授業したプログラミング学習の1時間目で、次のような話をしました。



☆PCやロボット(AI)は、空気が読めない！

お料理をしているお母さんが、牛乳が足りないことに気づきました。

そこで、お手伝いロボットに買い物を頼むことにします。

お母さん「牛乳を買ってきて。」

ロボット「ワカッタ。」

お母さん「そうそう、卵が売ってたら、6つ買ってきて。」

ロボット「ワカッタ。」

★ おつかいを終えたロボットくんが買ってきたものは、なんだったでしょう。

ロボットくんの買ってきたものは、「牛乳が6つ」でした…。

☆子どもたちもグループでいろいろと知恵をしばって考えていました。

「牛乳をいくつ買ってくるか言ってないから、お店にある牛乳を全部買ってきた！」

「卵はパックで売っているから、6つじゃなくて6パック買ってきた！」などなど。

中には、「命令があかんねや。もっと丁寧に言わんと。」という意見もありました。

そうなんです。「卵が売ってたら、卵を6つ買ってきて。」そう言うべきでした。

人間は、文脈から判断して、当然卵を買う話だろうとなるのですが、それはAIにはできないよ、AIは計算や繰り返すことは得意だけど、苦手なこともあるよ、と話しました。

「目的に至るまでの過程を考え行動すること」こそが『プログラミング的思考』の基本なのです。

(文責：阿部美奈子)